

「自我自賛」の作品60点

男の居場所の会、長岡京で展示

版画・写真・俳句など多彩



会員の力作が並ぶ「自我自賛展」
(長岡京市神足2丁目・バンビオ1番館)

シニアの男性が集う市民団体「男の居場所の会」の芸術作品を発表する「自我自賛展」が5日、長岡京市神足2丁目のバンビオ1番館で始まった。会員が丹精込めて仕上げた木版画や写真、水墨画、書、俳句、陶芸など多彩な作品を展示している。

同会は自分の暮らす地域で気軽に話ができる仲間づくりなどを目的に2003年に発足。現在会員は44人で、毎週木曜の定例会では幅広い内容を議論する「男の井戸端会議」を開く。趣味の13分科会でも活発に活動。その成果発表の場として同展を実施している。

今年15回目の節目を記念し、中小路健吾市長が雪化粧の西山の写真1点を出展。伊根湾クルーズで群れ飛ぶカモメと鳥影の木版画や、コスモスの写真、

扇子を持つ赤いドレスを着た女性の絵画など会員の約60点を展示している。早速、訪れた市民らが興味深げに鑑賞していた。

7日まで。午前10時～午後6時(最終日午後4時)。入場無料。
(佐々木伸次)

スポーツ

長岡京市長杯テニス大会
(3日・アクアパルコ池西)
【男子ダブルス】C級